

週末は上海から最も近い 水郷古鎮「朱家角」をご紹介します！

半日観光にオススメ♪

朱家角は明の万暦年間から続く古い水郷で、運河に囲まれたのどかな村です。
昔ながらの江南地方水郷地帯の町並みが今なお保存されています。



(城隍廟)

朱家角の中心に位置する城隍廟です。
清の乾隆二十八年（1763）に建てられた青浦城隍の行宮です。
230年以上の歴史を持つ廟内には、三宝と呼ばれる舞台、
大算盤、イチヨウの樹があります。



(放生橋)

朱家角の高名な僧侶が、漁師さんから捕まえた魚を買い取り、
この橋から逃がしてやったことから生きて放す橋の名が付いた
そうです。
橋の上から魚をリリースすると、願いが叶うとか?!
朱家角の町並みが一望出来ます。



(朱家角の水路)

この発達した水路が水郷を形成しています。
小舟に乗って水路遊覧も出来ます。